

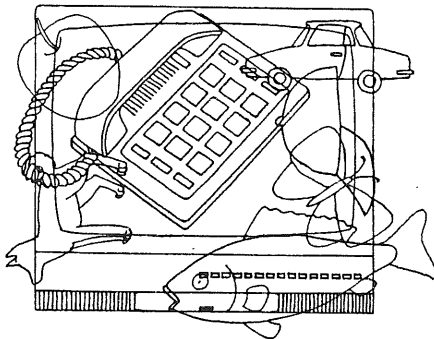
学習内容のお知らせ

保護者各位

平素はさんさん教育にご理解とご支援をいただきありがとうございます。

つきまして、お子様は、これからさんさんの手びき・図形1の学習を始めますので、その基本的な内容をお知らせいたします。

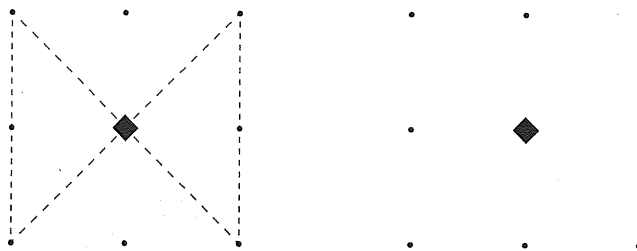
◆ かたち



いろいろな物の形を見分けることは図形の学習では基礎的な能力です。それは数をかぞえるときに、何がいくつ、というように物を分類する基礎になります。その能力の発達には経験が必要です。

左の図の形探しが楽に出来る子どもは、頭の中に、自分なりの形を持っていると言えます。

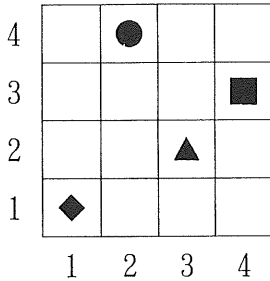
◆ 位置と形



上の左の形を右に写すことをさせます。小学校1年生では、なかなか出来ません。それは、上下左右がまだ身につけていないからです。

◆を中心にして、・がどこにあるかが認識できることが必要です。この学習は、長さを測定したり、点の位置を数えたり、形を調べたり、方向を調べたりします。知能の発達も分かる学習です。

◆ 座標



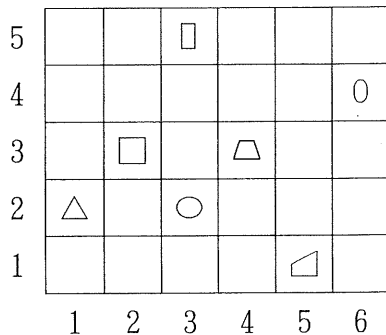
左の黒い形の位置を表すのに、横何番、縦何番で表すのを座標で示すと正確になります。京都市では、場所を4条大宮と言ったりしますが、それは座標を利用しているのです。

◆は横1、縦1のところにあります。

■は横4、縦3のところにあります。

この学習は手びき4号まで学習しますと、小学校1年生でも分かります。図形を座標に関係づけて表しますと、より数学的になります。

◆ なかまあつめ



なかまあつめは、いろいろな形から共通なものを引き出して、まとめることです。

正方形も四角、梯形も四角、長方形も四角から、頂点が4つ、直線が4つで、囲まれていることに着目することです。それを座標の学習を通して考えます。

たいへん図形の中では高度な学習と言えます。

図形の数学的な定義

- ① 幾何学は空間における位置や位置づけに関する一つの数学である。〔ピアジェ〕
- ② 図形は、位置を何らかの座標で表せば数学的に正確になる。
- ③ 目盛りは一種の図形である。

さんさん教育研究所

指定教場